

登米市過疎地域持続的発展計画(案)に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	関連項目	意見の概要	関連部局	意見に対する考え方
1	Ⅱ 過疎地域の振興 1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	<p>●「人材育成」の対策では、「地域リーダー等の育成に努めます」と理念が述べられているに留まり、具体的な事業計画に関連事業が記載されていない。</p> <p>●今いる人材を最大限生かすため、「地域課題解決人材育成事業(資格取得支援、専門講座開催など)」を事業計画に追加してほしい。具体的には、地域課題解決のノウハウを持つリーダーの養成、起業家の育成、スマート農業の講習、交通空白地有償運送等運転者講習、DXの講習などが考えられる。</p>	まちづくり推進部	<p>●ご意見のとおり、事業計画に人材育成に関する事業として「地域おこし協力隊活動支援事業」を追記いたします。</p> <p>今後も地域の特性を活かした地域づくりに取り組むため、過疎地域における人材育成の取組を検討してまいります。</p> <p>●ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	Ⅱ 過疎地域の振興 1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 4 交通施設の整備、交通手段の確保 8 教育の振興	<p>登米市の将来を考えるうえで若年層の流出は深刻な課題。中学生の3割以上が市外の高校に進学し、高校時代という感受性豊かな時期を他地域で過ごすことで、就職・結婚の際に登米市へ戻らない傾向が強まっている。まずは、子どもたちが「生まれ育った故郷を誇りに思える」環境づくりが必要である。高校を新設するのが難しいのであれば、登米市から大崎市・石巻市などへのアクセスを向上させ、登米市に住みながら通学・遊び・活動できる仕組みを整えるべきだと考える。</p> <p>また、地元を学ぶ授業や地域プロジェクトを通して、高校生が登米市の良さを再発見し、愛郷心を育てる取組も重要。教育・交通・産業が連携し、「登米に住み続けたい」「いつか戻りたい」と思えるまちを目指すことが、人口減少を食い止める第一歩になる。</p>	まちづくり推進部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
3	Ⅱ 過疎地域の振興 3 地域における情報化	<p>●計画案の方針には「人にやさしいデジタル化を推進する」とあるが、情報化に関する具体的な事業計画を見ると「防災情報伝達」に留まっている。「登米市DX推進計画」にもあるように、「行政手続きのオンライン化」や「情報発信の高度化」等をこの計画にも明記するべきではないか。</p> <p>難解な資料の読解やデジタル端末の操作が難しい人にこそ、AIチャットボットなどが有効。また、高齢化が進む過疎地域だからこそ、医療・福祉分野でもデジタル技術の活用が望まれる。人口が多く、今後支援が必要になってくる団塊の世代は、デジタル端末にある程度馴染んでいる世代である。この5年間で、積極的にデジタル化を進めてほしい。</p> <p>●市民協働を効果的に進めるには、行政と市民の双方向性を活かした情報発信が有効である。現在行われているLINEの配信やウェブアンケート、市長へのメールなど情報発信や市民からの意見収集の取り組みは優れているが、技術の進展に合わせ、もっと効果的な方法が出てくることが予想されることから、計画に「情報発信の高度化」を追加してほしい。</p>	まちづくり推進部 総務部	<p>●「行政手続のオンライン化」や「情報発信の高度化」等の「登米市DX推進計画」に基づく取組は、本市全体を対象としたものであることから本計画案中には明記しておりません。</p> <p>今後、過疎地域の課題解決に有効なデジタル技術について研究を進め、取組の具体的な形が明らかになり次第、本計画に明記してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>●市政情報につきましては、ホームページをはじめ、様々なツールを活用して発信しております。特に市公式LINEにおいては、通報機能やウェブアンケートなど、市民協働を効果的に進めるツールであり、情報発信だけでなく市民とのコミュニケーションツールとして運用しております。ご意見のとおり、これからもより効果的な情報発信ツールが出てくることが予想されますが、現時点ではご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
4	Ⅱ 過疎地域の振興 4 公共交通の整備、交通手段の確保	<p>●『登米市地域公共交通計画』には、「地域間交通の再編」「地域内交通の再編」「地域実情を踏まえた公共交通の検討」などが謳われている。これを遂行するには、交通ニーズを丁寧に調査したり、関係者間のコーディネートをする人材が必要である。現在開催されている地域公共交通会議や法定協議会では、本来活発な意見交換が行われるべきであるが、議事録を確認する限り、十分な議論がなされているとは言い難く、より活発な意見交換を促すための手法を検討する必要があると考える。調査費やコーディネーターの件費の確保を見据え、「公共交通再編事業」を追加してほしい。</p> <p>●『登米市地域公共交通計画』に「自家用有償旅客運送や福祉輸送、送迎サービスなどの検討」との記載があるが、この取り組みが具体化し、運営の段階になったときのために、「自家用有償旅客運送事業 NPO等が行う自家用有償旅客運送事業に対し補助を行い、地域住民の移動手段の確保を図る」という内容を明記してほしい。</p> <p>●「デマンド型乗合タクシー」や「自家用有償旅客運送」の担い手の養成のため、第二種免許取得や交通空白地有償運送等運転者講習受講を支援してほしい。</p>	まちづくり推進部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
5	Ⅱ 過疎地域の振興 5 生活環境の整備	年金生活者や低所得者等にとって、登米市の生活インフラの中でも、上下水道料金が他自治体と比べてずいぶん高いのが気がかりである。光熱水費は生活の基盤で、もし登米市が、定住するうえで大切な水の確保と排水で低料金を目指しているなら安心だ。維持管理も含め大変な労苦があると思われるが、他施策ともども地域全体に目を配り、今後も安心して住める住みたい「まち」を何年何十年も未来にわたり築いてほしい。	上下水道部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
6	Ⅱ 過疎地域の振興 5 生活環境の整備 6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 8 教育の振興	<p>●過疎、高齢者地域への移動販売事業の取組強化が必要だと思う。住民のコミュニティの場、高齢者の健康状態・安否確認、障害者事業所の商品販売促進、地域就労等につながると思うからである。</p> <p>●公民館の活用方法、また、活用方法よっての施設改修・修繕。公民館を児童館、放課後子ども教室、スポーツクラブ活動、セミナー、図書館等として、もっと活用できないだろうか。活用できれば、学力・体力の向上、地域住民との交流、心豊かで健全な子どもの育成、見守り等につながると思う。</p>	市民生活部 教育部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
7	Ⅱ 過疎地域の振興 11 再生可能エネルギーの利用の推進	計画案では、再生可能エネルギーの推進について、市民等への補助事業のみが記載されている。脱炭素社会の実現と公共施設の光熱費削減のため、市民への支援だけでなく、市が率先して市役所、公民館、学校等の公共施設へ太陽光発電設備やバイオマスボイラーを導入する事業も計画に追加してほしい。	市民生活部 総務部	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。